

# 【外国語・中2・「Project2 あこがれの職業を紹介しよう」①】

## 育成を目指す資質・能力

- (知識及び技能) to不定詞と動名詞を活用することで、表現の幅が広がることを理解し、将来就きたい職業について、その理由を詳しく説明することができる。
- (思考力、判断力、表現力等) 小学生に職業の魅力が伝わるように、将来就きたい職業について、自分の考えを整理し、小学生の知りたい内容等も含めて伝えることができる。
- (学びに向かう力、人間性等) 小学生に職業の魅力が伝わるように、将来就きたい職業について、自分の考えを整理し、小学生の知りたい内容等も含めて伝えようとしている。

## ICT活用のポイント

ファイル共有システムによる個々の考えの深化と、動画撮影及び共有による目的意識の明確化

### 【つかむ】

小学生からのインタビュー動画を視聴し、将来就きたい職業とその理由を考える。

### 【追究する】

紹介動画やスライドを確認して、助言し合いながら、紹介内容を広げたり深めたりする。

### 【まとめる】

小学生に送る紹介動画を完成し、ウェブブラウザにアップする。

## 事例の概要

- ・学習支援ソフトのファイル共有システムを使って、個々の紹介メモや撮影した紹介動画を共有する。
- ・毎時間の学習のまとめとして、将来就きたい職業についての紹介内容をスライドにまとめる。

### 【事例におけるICT活用の場面①】

- ・思考ツールを使って考えた個々の紹介メモを共有する。
- ・互いに見合ったり助言し合ったりしながら、将来就きたい職業についての紹介動画を繰り返し撮影する。

### 【事例におけるICT活用の場面②】

- ・紹介動画を基に、将来就きたい職業についての紹介内容をスライドにまとめる。
- ・前単元や前時に撮影した紹介動画と比較する。

# 【外国語・中2・「Project2 あこがれの職業を紹介しよう」】②

## 【事例におけるICT活用の場面①】

【活用したソフトや機能】 ・学習支援ソフト ・動画撮影



- 追求する過程において、将来就きたい職業の理由をto不定詞を用いて考える際、思考ツールを活用した。その際、意見集約ソフトを活用し、それぞれのPCで全員が考えた表現を共有することで、to不定詞の使い方の幅を広げることができた。また、将来就きたい職業が同じ複数の友達のを参考にし、再度考え直すことで、将来就きたい職業の理由を広げたり深めたりすることができた。全員の考えを共有できるようにしたことで、その中から、自分にとって必要な情報を自ら選択することができた。
- ペアで紹介動画を撮影する際には、撮影後に動画を確認しながら助言をすることで、紹介する側も客観的に自分が紹介している様子を振り返ることができた。特に、声の大きさや速さ、目線等については、繰り返す中で個々の工夫が見られた。

撮影した動画をスライドに貼り付けることで、自分の動画だけでなく、授業の中で直接関わらなかった友達の紹介の様子も確認することができる。

## 【事例におけるICT活用の場面②】

【活用したソフトや機能】 ・ウェブブラウザ ・プレゼンテーションソフト



- 毎時間、言語活動の中で最も紹介したい内容を英文でスライドにまとめていった。スライドには動画も貼り付け、共有フォルダに保存した。本時を振り返る際に、前時に保存したスライドと比較することで、言語面や内容面で新たに紹介できるようになったことへの達成感を味わうことができた。また、スライドは、それまで作成したものに、毎時間追加していくことで、単元末に向けて、目的意識を明確にもつことができた。
- 追究する過程において、教師は、活動中の見とりに加え、保存された動画をもとに、知識・技能について評価していく。

スライドをポートフォリオ形式にすることで、毎時間の積み重ねが分かるようになっている。共有フォルダに保存することで、いつでも誰でも確認することができる。